

## 福島相双復興推進機構・第5回畜産セミナー 講演者等プロフィール

### 【 座 長 】

#### ○ 萬田 富治（まんだ とみはる）氏

[公益社団法人福島相双復興推進機構 技術参与]

大学院博士課程修了後、栃木県に位置する農水省の草地試験場に就職、その後、各地に転勤、北海道十勝の試験場と札幌の試験場で自給飼料の重要性を学び、続いて肉用牛の里山放牧の先進地の島根県石見地方に転勤、つくばの畜産試験場に転出してからは企画調整部長として研究管理を担当、国の研究機関が独法に移行後は栃木県那須の草地センター長に着任、早期退職して北里大学獣医学部に転出して教育と・研究に専念、大学退職後は公益財団法人生物科学安全研究所理事長（相模原）等を経て、一般財団法人生物科学安全研究所顧問、現在、公益社団法人福島相双推進機構技術参与、この経歴に見られるように官・学・民を幅広く歩いた日本における草地畜産のパイオニア、全国で先導的な経営に取り組む生産者と幅広く交流、現場から学ぶを信条とする。

### 【 講 師 】 <栃木県茂木町の畜産事業者より>

#### ○ 瀬尾 亮（せお まこと）氏

[畜産業 瀬尾ファーム代表 繁殖和牛40頭（うち24頭は放牧地）]

2002年に海上自衛隊を早期退職し、和牛繁殖農家を目指す。2006年から耕作放棄地活用により放牧地を徐々に拡大し、県の振興事務所、町役場、農協の理解・協力を得て、耕作放棄地を利用した放牧の取り組みを本格的に開始。2020年に「もてぎ放牧黒毛和牛」としてブランド化。地域経済の活性化に貢献。

※「もてぎ放牧黒毛和牛」

種付、子取り（出産）した後、生後12ヶ月まで放牧。生後約30ヶ月まで肥育し出荷。